



ST 通信

第 22 号

今年は例年になく暑い日が続いています。日中は屋外での活動はできるだけ控え、前号でもお伝えした通り、十分な水分と睡眠をとるようこころがけましょう。

この暑さの中では、普段と同じことをしていても、体への負担が大きくなっているため、大人が活動を調整してあげることが大切です。子どもが少しでも、疲れている様子をみせたら、早めに休息をとるようにしましょう。



～ことば遊びの時間～

言葉遊びの活動では、身近な物だけでなく、職員の写真も題材にしています。職員の名前を言葉や文字で答えてくれる子どもや、表現できなくても、「これは誰かな」と聞くと、嬉しそうに職員の方を指差してくれたり、普段名前を言うことがなかった子どもが、「〇〇先生」と初めて名前を言ってくれるなど、言葉の習得だけでなく、職員との関係の深まりを感じることができるようになってきています。



手遊びをやってみましょう♪

最近、子どもたちと一緒にいると、普段言葉があまりみられなくても、身振りをつけながら、楽しそうに歌を口ずさんでいる様子を見かけることがあります。手遊びは、子どもの発話を効果的に促す効果があります。

- ・メロディーがあることで、リズムにのせて体を動かしたり、言葉を発することができる。体が動かすことで、言葉は出やすくなります。
- ・歌詞に擬音語や、簡単な言葉の繰り返しがあることで、発話がしやすい。
- ・動きに合わせた言葉を使うことで、言葉の理解につながる。



など、いろいろなメリットがあるので、しっかりした発音でなくても、身振りをしながら、子どもが歌を口ずさんでいることがあれば、スキンシップもかねて、ぜひ、一緒にやってみてあげてください。